

# 1. 調査報告概要表

作成日 平成19年 9月14日

## 【評価実施概要】

事業所番号	3470103593
法人名	ふじなか
事業所名	グループホーム 白光の家
所在地	広島市安芸区中野四丁目49-11-15 (電話) 082-893-6610
評価機関名	特定非営利活動法人医療福祉近代化プロジェクト
所在地	広島市安佐北区口田南4-46-9
訪問調査日	平成19年9月14日

【情報提供票より】( 年 月 日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 15 年 9 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	16 人
職員数	20 人	常勤 11 人, 非常勤 9 人, 常勤換算	15.4

### (2) 建物概要

建物構造	準耐火構造造り
	2階建ての 1階 ~ 2階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000 円	その他の経費(月額)	46,000 円	
敷金	( )			
保証金の有無 (入居一時金含む)	(有) 150,000円 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	400 円	昼食	500 円
	夕食	500 円	おやつ	円
	または1日当たり		1,400 円	

### (4) 利用者の概要( H19年9月)

利用者人数	16 名	2 名	女性	14 名
要介護1	2 名	要介護2	3 名	
要介護3	9 名	要介護4	2 名	
要介護5	0 名	要支援2	0 名	
年齢	平均 90 歳	最低	60 歳	100 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	安芸市民病院・藤中医院・阿部歯科医院
---------	--------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

白光は郊外の緑豊かで閑静な住宅街に位置し、利便性もよく、隣接には設立者の協力医院があり、敷地内には菜園もあり入居者の楽しみとなっている。その人らしく、楽しく、穏やかに過ごされるよう独自の理念・方針・目標を明確にされている。入居者は良い方向に自立され、車椅子から歩けるようになられた方、食事介助がなくなり自分でしっかりと食べられる方、退去事例として自宅での生活が可能になり帰られた方も数人あり、当グループホームの在り方が入居者の今の姿にあると思います。職員は自立支援で見守り、入居者のその人らしく出来る事を伸ばす方向で、愛情を持って接する姿勢が伺えました。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	外部評価の結果を職員全員に伝えサービス質の向上に活かせるよう取り組まれています。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	評価の意義ねらいを、職員全員で話し合い今のサービスの良い所、悪いところを把握して取り組まれています。
重点項目	運営推進会議を2ヶ月に1回開催され、幅広い立場の人の意見を取り入れられ、サービスの向上に意見が具体的に活かされている。これから地域とホームの情報の共有に努められ地域資源の活用を期待します。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
重点項目	家族からの意見を取り入れられる苦情相談の窓口があり、家族の訪問の多い当ホームは気軽に来られる雰囲気づくりに努められ家族の意見を取り入れられた運営がされている。
重点項目	町内会に入り地域の行事には参加されており、いきいきサロンや、お祭りなど地域の一員として自治会と交流がされている。ボランティアの踊りや演芸をされた後、反省会の中で介護方法や、介護予防について話されており、今後グループホームとして認知症における情報の発信源として活躍されることを期待します。

## 2. 調査報告書

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	職員は愛情をもって接する、愛と和の理念で日々入居者との関わりの中で、一人ひとりの生活に合わせたケアの提供に全員で努められている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	全員ミーティングでの話し合いの中で、日々の出来事を理念に触れ取り組まれている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に入り地域の一員として、お祭りや地域でのサロンに参加し交流されている。歌、踊り、などのボランティアの訪問があり入居者は楽しまれている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全職員で評価の結果を改善に向けた検討や実践に努められている。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議での内容を報告し、全職員で結果をふまえてサービスの向上に活かせるよう努められている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の介護保健課と連絡をとられ、指導を受けられている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	家族の訪問は多く、その都度入居者の暮らしや状況は伝えられている。家族に新聞を発行しホームの様子が報告されている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の意見や苦情は玄関の窓口に置かれている。訪問の際できるだけ話を聞くようにし、出された意見、要望は日々のケアに活かされている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	一階二階の職員は固定されている。入居者の馴染みの職員の支援を受けられるように配慮され、離職がないように待遇の面でも配慮されている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	働きながら学べる職場であって外部からの研修、指導もあり、その研修報告書を全員で回覧されている。文献の提供は多くそれらは日々学びつなげていく機会になっている		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修会に参加され同業者と研修を通して、情報を取り入れ質の向上に励まれている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居者、家族にとって納得のできるケアができるよう、ホームは必要な支援を、安心したホーム利用されるよう家族と相談されている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>入居者の残存能力を引き出し、得意なことを日々の生活の中で職員と協働しながら過ごされている。</p>		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居者の生活史を把握するフェイスシートを作り入居者にとってどのように暮らす事がいいか、暮らしたいか、日々の行動や家族からの情報を得るようにされている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>日々の関わりの中で入居者や家族の思いや、意見を聞き、介護計画の作成に活かされている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月に一度の介護計画を立てられている。状態の変化や、状況によっては見直しがされている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入居者、家族の希望や状況に応じて通院の支援もされている。家族で通院をされる方もあり柔軟な対応がされている。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	設立者が協力医であり隣接が医院であり、医師は家族と連絡、報告され回診も週に2回あり入居者にとって適切な受療体制ができています。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	協力医師の指導を受けられ、これからの方針を全職員で話し合い支援につながるよう取り組まれている。		現在は終末医療を受けられる方はないが今後そうした時に備えて医師と連携を図られ諸条件の準備に取り組まれる事を期待します。
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	日々の関わりの中で入居者の誇りを損ねることのない配慮がされている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの体調に配慮して自由にその人らしく過ごせる支援がされている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者の気持ちを聞き、献立、調理を職員と一緒にされ、活動を通して話をしながら雰囲気作りを大切にされている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入居者の希望に応じて入浴支援がされている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者の楽しみ事、得意なことをできるだけ、その人らしく発揮されるよう支援されている。ゲーム、体操、歌、活花、花の水やり、配膳、掃除)		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近くに公園もあり天候に配慮して、できるだけ出かける機会が作られています。ホームの周辺は坂道があり移動に配慮されて出かけられている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は開放しており、見守りはしっかりされており、さりげない声かけがされていた。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	マニュアルは作成されており、年2回の防火訓練が行われている。		これからの運営推進会議で、地域との連絡網や、マニュアル作りをされ、地域と協力体制をとられるよう、準備されているので期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事は栄養、水分量を計算された対応がされている。特に水分は状態や運動、気温などに応じて摂取されるように支援されている。糖尿食の方のおやつ提供には柔軟な支援がされている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関は開放的で入り易く白光の家の表札は大きく分かりやすく、誰でも気軽に入れる家庭的な雰囲気を感じられる。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者の家庭にある物品が持ち込まれている。一人ひとり安心して過ごせるよう、使い慣れた日用品や写真、花はどが置かれて、細やかな配慮がされている。		